

2008 年度

科目名 <p style="text-align: center;">日本仏教史</p>	対象学科・学年 教育教福 2 回生	担当者 <p style="text-align: center;">梯 信暁</p>
授業テーマ 古代・中世日本仏教の展開		
授業の概要と目標 6世紀以降、日本の文化は、なんらかのかたちで仏教の影響をうけてきました。さまざまな思想・信仰と習合して日本人の習俗・習慣を形成してゆくとともに、個人の尊厳を自覚させるという機能をもはたしました。日本文化の基底をなす各時代の宗教思潮を求めることをめざしつつ、日本仏教の進展を支えた先達者達の業績にも触れたいと思います。【前期】は、仏教伝来から平安時代中期までを概観します。八宗体制の成立とその根底をなす思潮について考えたいと思います。【後期】は、中世の仏教がテーマです。鎌倉新仏教の根底をなす思潮と、法然・親鸞・道元・日蓮らの思想を紹介します。		
評価方法 課題レポート (80%)・出席状況 (20%)		
テキスト 『日本の宗教』	著者 堀 一郎	出版社 原書房
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 (1)オリエンテーション：講義の目標と内容の概説 (2)仏教の伝来 (3)聖徳太子 (4)国家仏教の展開 (5)国分寺と東大寺 (6)南都六宗の成立 (7)奈良時代の仏教文化 (8)最澄と天台宗 (9)比叡山の仏教文化 (10)空海と真言宗 (11)密教の特徴 (12)平安仏教の密教化 (13)験者の活動 (14)御霊信仰 (15)中世の胎動 (16)顕密体制論 (17)念仏の流伝 (18)貴族の信仰 (19)地獄と極楽の思想 (20)神仏習合 (21)聖の活動 (22)未法思想 (23)法然①：法然の生涯 (24)法然②：法然の思想 (25)親鸞①：親鸞の生涯 (26)親鸞②：親鸞の思想 (27)禅の思想と栄西 (28)道元の生涯と思想 (29)日蓮の生涯と思想 (30)一遍の生涯と思想		